

こおりやまの市民活動(ボランティアやNPO)を応援する広報誌

あしそとばあく

第53号

2019年6月1日発行

発行：郡山市市民活動サポートセンター
(愛称：アシストパーク郡山)

特集ー市民の力で地域課題を解決するー

市民活動団体紹介

① 市民の共感を集め参加と協力で「猫」の「殺処分ゼロ」の地域を目指す

NPO 法人保護猫カフェ love.lab (ラブラブ)

② 福島県の多言語多文化の共生を担う持続可能な組織として

一般社団法人ふくしま多言語フォーラム



写真：NPO 法人保護猫カフェ love.lab (ラブラブ)
君島貴之さん、渡邊 愛子さん



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標

NPO法人保護猫カフェ love.lab

「猫の命」を大切にする地域づくりを目指し、市民の皆さんと一緒に活動するNPO法人です。



Facebookページ「いいね数」3,970件、強力な情報発信力を活用し、活動開始から今春まで約1000匹の保護猫を譲渡。譲渡率100%を維持しながら、市民の力で殺処分ゼロのまちづくりに取り組む。

NPO法人保護猫カフェ love.lab（ラブラブ）
理事長 渡邊 愛子さん

本年、「動物の愛護及び管理に関する法律（動物愛護法）」の改正が国会で予定されています。名称も動物の「愛護」から「福祉」と改正される予定です。近年、地方自治体による様々な取り組みが進む中、福島県の犬猫引取り数・殺処分数とともに全国ワースト一位（平成二十九年度）という残念な順位となっています。郡山市では、平成二十五年をピークとして殺処分数は下がり始めていますが、平成二十一年は、百八十頭の猫の処分を行っています。郡山市では、平成二十九年（処分数の減少）に貢献しているのが市民活動団体の取り組みです。

「保護猫カフェを運営しながら、郡山市との連携により、保護猫の啓発や譲渡推進活動などに取り組むNPO法人保護猫カフェ love.lab（ラブラブ）理事長 渡邊愛子さんにお話を伺いました。

活動の経緯を教えてください。

「保護猫」とは保健所・動物愛護センターなどに寄せられる迷い猫や、飼い主の様々な事情により飼育が出来なくなった猫たちの事です。私たちの住む郡山市では、里親・譲渡先の見つからない猫が殺処分されたり、なんとかしあげたいと考えたことが活動を始めたきっかけです。

最初は、任意団体として郡山市に引き取られる身寄りのない猫の里親探し活動に取り組むところから始めました。保護猫活動のシェルター設置や将来的なビジョンを念頭にNPO法人となって、地域の皆さんに信頼してもらえる組織となるために信頼しました。平成二十八年六月に法人を設立しました。



保護猫啓発の拠点として保護猫カフェ運営する



NPO法人
保護猫カフェ love.lab（ラブラブ）
福島県郡山市静町1-28 根本ビル 102
営業時間：10:30～19:00
定休日：毎週木曜日
TEL：024-954-5530
駐車場：有

団体公式ページ



「郡山市と協働」で課題解決♪①

郡山市の市民協働政策提案制度（平成三十年度募集）の採択を受け、今年の五月より郡山市と協働での事業を進めることになりました。市民に向けた「猫の飼い方講習会」講師を務め、広報を含めた取り組みを行ないました。また、地域の大規模商業施設にて、猫の写真展を開催し、保護猫を増やすよい啓発活動を行います。

●保護猫の活動

私は、保健所で収容された猫を引取ります。その段階で多く、連携している動物病院で検査、治療などが必要になります。また、生まれたばかりの子猫などは、法律に規定された里親譲渡が可能になるまでの二ヶ月間は、私達が二十四時間体制で育てます。譲渡が可能になった猫をSNSで呼びかけ、共感していた市民の皆さんへと繋がります。活動開始から、約千匹の猫の里親譲渡を行ってきました。

●今後の課題などについて

活動を始めてから、お陰様で沢山の方にご支援を頂くようになります。しかし、目標とする「猫の殺処分ゼロ」のまち・こおりで実現するためにまだまだ組織として更に力をつけて行く必要があります。資金面では、カフェの運営や寄付などの収益は少しづつ増えていますが、シェルターの整備をして、保護猫を飼育するための環境を充実させていくための安定した収入の確保が必要です。

また、NPO法人の特性である地域の市民・企業の皆さんの「参加と協力」をいただける組織となるようになると、組織のみを進めて参ります。

ボランティア情報

NEW



NPO法（特定非営利活動促進法）18分野のボランティア情報の提供を行っています。

自然体験活動ボランティア

運営サポートボランティア募集
日時 7月20日（土）
問合せ：NPO法人江湖村
TEL:024-992-1071

ボランティア体験プログラム

問合せ：郡山市社会福祉協議会
ボランティアセンター
TEL:024-924-2968

水配布ボランティア募集

水遊び（力仕事）、細々とした食品の袋詰め、子ども達のお世話。
問合せ：NPO法人 FUKUSHIMAいのちの水
TEL:090-7079-5011（代表）坪井

スマートフォンでボランティア情報を確認できます。



ボランティア情報をお寄せ下さい
郡山市市民活動サポートセンター ☎ 024-924-3352

Q&A

教えて！市民活動相談（窓口や問合せ・相談申込書で寄せられた相談事例からご紹介します。）



活動を始めて間もないボランティア団体です。活動資金として助成金の利用について相談したいです。事前に必要なものはありませんか？



事前に会則、名簿、活動内容がわかるものを市民活動サポートセンターまでメール送信又は、ご持参下さい。その上で目的などを伺い、ご案内いたします。



NPO法人とはどのような団体なのでしょうか？



NPO法人は、社会的責任と共に一定の信用が得られます。市民に向けて参加と協力を求めた活動基盤をベースに、寄付や会費など多様な資金が利用できる特徴があります。

一般社団法人ふくしま多言語フォーラム

福島県の多言語多文化共生社会を目指し、教育分野のスペシャリストとして♪



一般社団法人ふくしま多言語フォーラム
代表理事 中川祐治さん（福島大学人間発達文化学類准教授）



● 日本語教育の法整備について
● 分割も担つていき、持続可能な組織活動にチャレンジしてみよう
と/or
の思いです。

福島県内では、長い間、外国人への日本語教育支援に携わってきたのは、地域のボランティア組織だけでは、今後発生する多様なニーズへの対応が難しいことや高齢化による継続への不安要素などを感じました。今後の福島県の日本語教育の分野などで、中間支援組織の役割も担つていき、持続可能な組織活動にチャレンジしてみよう

● 今後の活動について
● 今年は、郡山市との協働事業の実施や文化庁の事業を受託し、リサーチや人材育成に関わる事業も進めて行くことになります。

ここ数年で外国人を労働力として受け入れる施策や法律の施行を孕んだまま進んできています。本来、最初に決めるのは、多文化共生の基本的な指針となる理念法が必要でした。しかし、五月末に「日本語教育の推進する法律案」が国会の衆議院に入られ優先で進む中、本年の

「郡山市と協働」で課題解決♪②



町内会のお役立ち情報

助成金情報

町内会の恒例行事ではなく、地域の防犯対策事業や見守り事業などは、助成を受ける事が可能です（応募審査有り）

郡山市ひとまちづくり活動支援事業

市民活動団体（NPO 法人、ボランティア団体など）の皆さんの地域づくり・社会貢献活動などを応援する事業です。

公益信託うつくしま基金

NPO 法人、ボランティア団体などの実施する公益的な事業のスタートアップを支援します。

郡山市まちづくり活動保険

郡山市では、町内会活動やボランティア活動など安心して取り組んでもらうため保険に加入しています。

郡山市のウェブサイトで町内会活動に係る各種助成等のページが閲覧できます。



団体公式ページ



一般社団法人ふくしま多言語フォーラム

Tel: 024-905-1589 (代表) / 080-9018-2518
E-mail: fm.tagengo@gmail.com

を通過し日本語教育の理念に係わる部分の整備に向け一步前進しているところです。

日本語教育とは？

一般社団法人ふくしま多言語フォーラムは、言語を通じて、人と地域、人と企業をつなぐことを目指し非営利型の定款を持つ団体として、二〇一八年に設立しました。日本語教育の経験豊富なスペシャリストが集まり、福島県内の外国人への日本語教育の向上をはかる人材育成、企業等への日本語教育の提供などの関係事業を進めています。

日本語教育には、多種多様な目的・ニーズがあります。外国人技能実習生への日本語能力試験（JLPT）への対策試験の研修、会社内での業務に必要な研修、地域の外国人の方々への生活面での日本語教育支援など、一つの団体ですべてに対応するのは難しく様々な組織・人が連携した対応が求められます。現在、日本語教育の資格を取るには、私の所属する福島大学を含む専門機関での受講や試験をクリアする必要があります。現在行っている日本語研修事業については、私たちの趣旨に賛同いただいた企業様に依頼をいただき、目的別に派遣講師として出向き研修を行っています。

こうした資格を持つ方々が、県内で活躍できるようなサポートやフィールドの整備が求めらるべきだと考えています。現在行っている日本語研修事業について、私は、郡山市との協働事業の研修・日本語の向上などの要望に沿った内容をデザインして実施しています。

提携制度（平成三十年募集）の採択を受けて、今年度は外国人にも住みやすい郡山の実現に向けて、①市在住外国人の生活環境の調査分析、②外国人住民の視点による市の広報活動制作③共生のまちづくりを目指した啓発イベントの開催などを行なっています。在住外国人に向けてアンケート・調査分析などは、郡山市にとつても、今後の政策に生かせる事として期待を寄せて頂いています。



活動支援情報

市民活動サポートセンターからのお知らせ



市民活動団体紹介



市民活動サポートセンターの登録団体さんをご紹介します。

一般社団法人悲しみを佛の智慧に学ぶ会

定期的に「わかちあいの会」を開催しています。

対象は、大切な人を亡くした方。性別、故人との関係、死因、死別時期などは問いません。
お茶やお菓子をいただきながら、参加者同士がそれぞれの想いを語り、また、それぞれの
想いを聞き届けます。

団体ロゴ



ウェブサイト



NPO 法人まちづくりエージェント SIDE BEACH CITY

私たちは、一般市民を対象とし、IT化の支援及びITの活用を通して情報化社会の発展
を図るとともに、地域における社会的課題を解決するための「人」「モノ」「資金」「情報」
「技術」「つながり」をはじめとした各種資源の交流を支援する活動を行い、地域における
まちづくり及び経済活動の活性化を図り、社会貢献に取り組んで参ります。

団体ロゴ



ウェブサイト



「こおりやま市役所 de かふえ」開催♪

地域のビッグデータを活用
し、見えない課題が浮き彫
りになる「茶話会」

つながる・つくる・つたえる
未来のみんなが幸せに暮らせるように
郡山を大好きな人達が集い一緒に考え
る楽しいひと時を過ごしましょう



時 2019年 6月 21日 金
15:30 ~ 17:15

場 郡山市役所 本庁舎1F 食堂隣り
官民に蓄積されたビッグデータの活用が、
新たな産業や雇用の創出、社会的課題
の解決につながることから、郡山市が持
つ公共データのオープンデータを活用し
地域の課題を「見える化」し課題解決に
取組む「きっかけの場」です。地域の課
題をそこで暮らす市民がともに解決し合う
持続可能な地域づくり・まちづくりについ
て考え参加してみませんか？

問 郡山市市民活動サポートセンター
電話 : 024 (924) 3352
メール : ap@utsukushima-npo.jp

みんなの市民活動交流フェスタ 2019

「交流フェスタ 2019」出展希望団体・ボランティア募集♪
アリーナ前模擬店出店者も募集！出展料無料！

時 2019年 11月 3日 木

場 郡山カルチャーパーク
カルチャーセンター（アリーナ）



『持続可能な未来をつなぐ』をキーワード
として、市民の皆さんへ地域で活躍する
市民活動団体・グループ・NPO 法人・
自治会・地域づくり団体等の活動を「学
ぶ・知る・参加する」交流の場です。
市民の共感と応援の輪が広がり多様な主
体による協働と共創の持続可能なまちづ
くり・地域づくりに向けて実施いたします。
参加団体及び市民ボランティア（運営ボ
ランティア）を募集します。

問 郡山市市民活動サポートセンター
電話 : 024 (924) 3352
メール : ap@utsukushima-npo.jp

市民活動相談コーナー



会計相談（予約制）
毎週!
月火水 13:00 ~
NPO 法人の会計相談が
市役所内で受けられます。
(簿記の理解は必須。)

市民活動相談（予約制）月～金まで毎日！

既に活動している団体は、下記資料を事前にメール等で送付下さい。
NPO 法人は、定款・決算書・事業報告書・パンフレットなど
ボランティア団体は、総会資料・決算書など

これからはじめたい方は、A4 サイズのメモ程度など
何もない方でも大丈夫。スタートラインへご案内します♪

つながる・つくる・つたえる 誰もが住みやすいまちづくり活動を応援！

発 行：郡山市市民活動サポートセンター
(愛称：アシストパーク郡山)

住 所：〒963-8601

福島県郡山市朝日一丁目 23 番 7 号
郡山市役所西庁舎 3F

電話 / FAX : 024-924-3352

開所時間：8:30-17:15

休館日：土、日、(祝・祭日)

ウェブサイト : <http://www.assistparkkoriyama.net/>

メールアドレス : ap@utsukushima-npo.jp

運営委託：郡山市市民部市民・NPO 活動推進課
運営受託：NPO 法人うつくしま NPO ネットワーク



編集後記

市民活動の「ちょっと気になる」コーナー

活動資金の獲得方法の一つとして、「寄附付き商品」
の開発・販売の手法があります。地域で取組みが広が
るように事例や案内に取り組んでいきます♪

地域のマルシェが元気です。マルシェの賑わいと市民
活動は似ています。多くの人が求める品質を揃えるこ
とは大変ですが、参加と協力で乗り越えて行く事例が
たくさんあります。一緒にチャレンジしましょう♪